

幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会 第2回新校区検討部会 議事録

日時 令和4年8月9日（火）18時00分

会場 鉄南ふれあいセンターホール（3F）

出席者 （委員）

齊藤委員、赤坂委員、田中委員、岡崎委員、伊清委員、荒関委員、太田委員、山田委員、鳴海委員、村上委員、柴田委員、猪子委員、森委員、竹中委員

（事務局）

堀井部長、中島参与、館下次長、近間総務 G 総括主幹、西川原学校教育 G 総括主幹、中井学務主幹、蓬田主査

○部会長 時間となりましたので、これより、幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会の第2回新校区検討部会を開催いたします。

今回は、事務局より部会の運営方法について説明した後に、統合にあたっての環境整備に関し具体的な協議に入りました。

協議事項としては、「特色ある教育（幌別駒おどり）の継承について」を取り上げました。

事務局である教育委員会からは、統合後の幌別小学校でも「幌別駒おどり」に取り組むことができれば、地域学習の教材として活用できることはもちろん、郷土芸能の伝承にも繋がるとの話がありましたが、そのためには、幌別小学校でカリキュラムの一環として取り組むことができ、さらに保存会もその活動をバックアップすることが前提になるとの説明がありました。

これを受けて両者から話を聞きましたが、委員からは、地域の支援を前提に、特定学年の総合学習の一環で取り組むことなどは可能との話がありました。

また、幌別駒おどり保存会の委員からは、仮に幌別小学校で取り組むということになれば、保存会としてその取組を支援するとの話がありました。加えて、保

存会の皆さんからは、学校支援という観点から言えば、校区が一つになるということもありますので、現幌別小学校区の地域の皆さんとともに活動できればとの話もあったところです。

ただ、幌別小学校区の関係者にとっては、この「幌別駒おどり」、決して馴染み深いものではありませんので、中央地区連合町内会の委員からは、まずは「幌別駒おどり」を知るための活動から始めるべきではとの話がありました。

こうした議論を踏まえて、事務局である教育委員会からは、取組の考え方を整理して次回お示しするとの話がありましたので、今回は事務局の説明を聞いた後に、再度議論を行いたいと思います。

それではさっそく議事に入りますが、はじめに会議次第2の映像資料鑑賞として、平成28年度市民文化祭における「幌別駒おどり」の映像資料を用意しているということですので、こちらを鑑賞した後に、協議に入っていきたいと思えます。それではよろしくお願ひします。

○事務局 (スクリーンでDVD再生)

○部会長 「幌別駒おどり」の映像資料を鑑賞しましたが、これに関し質問はありませんでしょうか？

(なしの声あり)

○部会長 続きまして、会議次第3は協議事項です。協議事項「(1) 特色ある教育(幌別駒おどり)の継承について」であります。前回、委員からは、地域の支援を前提に、カリキュラムの一環として「幌別駒おどり」に取り組むことは可能との話がありました。また、保存会の委員からは、学校の取組を支援するとの考えが示されました。加えて、保存会からは、学校支援については、幌別小学校区の地域の皆さんと協力して行うことができればとの希望が示されたわけですが、これらを踏まえて、事務局で今後の取組案を用意しているとのことですので、説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明。事務局の説明に続き、保存会メンバーより、中央地区連合町内会との連携のあり方について考え方を説明)

○委員 わたくしども保存会としては、さきほど教育委員会から説明があった通り、幌別小学校において授業の一環として「幌別駒おどり」に取り組んでもらえるのであれば、幌別東小学校に対してと同様に、幌別駒おどり保存会として協力していきたいと考えております。幌別小学校による「幌別駒おどり」の取り組みを支援するにあたっては、我々保存会が中心になるのは当然であります。幌別東小学校と幌別小学校が統合して一つの校区になることを考えれば、将来的には、中央地区連合会町内会の皆さんとともに協力して行うことができると言う希望は持っています。ただ、前回の会議に出席された中央地区連合会町内会の役員の方からもお話があったとおり、中央地区連合会町内会の皆さんにとっては、「幌別駒おどり」は決して馴染み深いものではないので、まずは、中央地区連合会町内会を初めとした幌別小学校関係者の皆さんに、「幌別駒おどり」に愛着を持っていただけるように一緒に取り組みを進めていければ良いと考えております。

いずれにしても、統合となる令和7年度以降、幌別小学校において授業の一環として「幌別駒おどり」に取り組んでいただけるのであれば、まずは現在の幌別駒おどり保存会が中心となって協力していきたいと考えております。以上でございます。

○部会長 事務局より、統合後の幌別小学校における取組の考え方について説明がありました。内容としては、まずは幌別小学校と保存会の協力体制が中心になるものであり、幌別小学校では3年生の総合学習の一環として「幌別駒おどり」に組み込み、その成果を学習発表会などで発表することを想定するとのこと。また、保存会は、「幌別駒おどり」の由来等などに関し学習活動に協力するほか、踊りの指導役として支援を行うとの内容でした。また、保存会からは、現幌別小学校区の町内会である中央地区連合町内会との連携に関し話がありました。その内容についてであります。学校支援に関しては、校区が一つになることもあり、将来

的には中央地区連合町内会と協力して行えればとのことですが、中央地区連合町内会の皆さんにとっては、決して馴染み深いものではないので、「幌別駒おどり」を知ってもらえるよう取組を続け、まずは保存会が中心となって学校への支援を行いたいとのことでした。これについて、委員の皆さんから質問や意見はありませんでしょうか？

○部会長 私からの質問なのですが、「幌別駒おどり」を実際にやる時には、子ども達を中心になるということでしょうか。それに大人が混じってやるということでしょうか？

○委員 実際にやるのは子どもたちになります。私たち保存会は、踊りや音楽の指導をやることになります。

○部会長 もう一点、先ほど3年生の総合学習でという話がありましたが、3年生の時に授業の一環で経験し、その後は高学年を対象に希望者を対象に行うということもあり得るのでしょうか？

○委員 幌別鉄南地区でも元々は希望者を対象に行っていたのですが、なかなか子どもたちに参加してもらえないという事情があり、幌別東小学校に協力を求めたという経緯があります。そうしたことを考えれば、希望者を募るというのは、現実的に難しいように思います。

○部会長 参加者を増やすためには、「幌別駒おどり」の認知度を高めなければならないと思います。例えば、学校の総合学習会や市民園芸祭だけでなく、イベント等に積極的に参加することが必要ではないかと思うのですが、いかがでしょうか？

○委員 子どもたちにとっても、発表の場がたくさんあることは良いことだと思いますので、イベント等への参加の誘いがあれば、積極的に応じていきたいと思います。

- 部会長 ありがとうございました。委員の皆さんから他にありませんでしょうか？
- 委員 カリキュラムの一環ということであれば、子どもたちも当然授業として取り組むわけですが、郷土芸能の伝承ということを考えると、果たしてそれだけいいのか疑問があります。学校のカリキュラムで取り組むということだけでなく、保存会としても、「幌別駒おどり」の認知度を高めるための取組を積極的に進めなければならないと思うのですが。
- 部会長 確かに幌別小学校でカリキュラムの一環で取り組むといっても、あくまで体験の域を出ないものだと思いますので、保存会の皆さんの思い、郷土芸能を伝承していくということとは少しズレが生じてしまっているようにも思えます。また、今後、郷土芸能として伝承していくためには、保存会の若返りも必要になるように思うのですが、その点についてはどのように考えているのでしょうか？
- 委員 今後、統合後の幌別小学校で取組を進める中で、地域の若い方達にも入っていただければと思っております。
- 委員 委員に確認ですが、地域の支援を前提に取り組んでいくとのことですが、地域の支援とはどのようなことを想定しているのでしょうか？
- 委員 さきほどもお話ししましたが、地域を知るという大きな学習活動の中で取り組むこととなります。単に踊りを経験するだけでなく、「幌別駒おどり」の由来などを学びながら、その一環で実際に踊りを経験することとなりますので、地域の皆さんには、駒おどりの由来をお話しいただいたり、踊りの指導をしていただいたりということになろうかと思えます。
- 部会長 ちなみに初めて駒おどりを経験する子どもたちが、発表できるレベルで踊れるようになるには、どれくらいの時間が必要なのでしょうか？
- 委員 幌別東小学校の場合を例にとれば、おおまかな部分は3回程度でマスターし、

その後2回ほどの練習で微調整を行うというイメージかと思います。

○部会長 全体で5回程度ということですが、カリキュラムの中で十分な時間は確保できるのでしょうか？

○委員 ある程度の時間を確保することは可能だと思います。

○委員 私としては、幌別鉄南地区連合町内会と中央地区連合町内会がともに学校の活動をサポートするのが望ましいと思うのですが、中央地区連合町内会の皆様としては、どのようにお考えでしょうか？

○部会長 保存会からは前回も同様の問いかけがあったように思うのですが、中央地区連合町内会としてはどうなのでしょう。

○事務局 冒頭、委員から、現段階では幌別小学校区の地域の皆さんにとって、駒おどりは馴染み深いものではありませんので、まずは知っていただくための取組を進めていくという話があったかと思います。これについては、前回、中央地区連合町内会の委員から、将来的にともに活動することを否定するわけではないが、まずはどういった踊りかを知ることから始めなければならないという話がありました。それを受けて、委員から冒頭のお話があったことと思いますので、現段階ではそうした整理で理解していただければと思います。

○部会長 他にありませんでしょうか。無いようですのでまとめに入りますが、「幌別駒おどり」については、統合後の幌別小学校においても、特定学年の総合学習の一環などで取り組んでいくこととし、取組にあたっては、まずは保存会が中心となって学校の取組を支援しますが、同時に幌別小学校区の関係者にも、駒おどりに愛着を持ってもらえるよう取組を進めていくという整理でよろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○部会長 本日は、「特色ある教育（幌別駒おどり）の継承」について議論を行ってきました。統合後の幌別小学校における「幌別駒おどり」の取組に関しては、部会として考え方をまとめられたものと思います。次回も引き続き、課題への対応方法などに関し、その詳細を議論していきたいと思いますが、具体的なテーマに関し事務局より説明をお願いします。

○事務局 今回は、統合後の幌別小学校における「放課後子ども教室」の取組に関して、具体的な協議をお願いしたいと思っております。現在、幌別東小学校区におきましては、週2回、校舎の空き教室を活用して、「放課後子ども教室」を実施しておりますが、統合により校区が一つになった時に、これをどのように取り扱っていくのか、具体的にお話しできればと思っております。

○部会長 事務局より、次回の内容について説明がありましたが、これに関し委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか？

(なしの声あり)

○部会長 最後に会議次第4の「その他」について、事務局より何かありますでしょうか？

○事務局 次回の部会については、9月7日水曜日、時間は本日同様18時から、場所についても本日同様、鉄南ふれあいセンターホールを予定しております。具体的な内容に関しては、後日、事務局より連絡いたしますのでよろしく申し上げます。

○部会長 これについて何かありませんでしょうか？無いようですので、これで「第2回新校区検討部会」を終了します。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。